



ハメ ドゥースト



みんな ともだち!



Tehran
Japanese
School

学校便り「ハメドゥースト」
2023年度 第5号
2023年8月29日発行

苦しい時は成長のチャンス

テヘラン日本人学校 校長 西田隆之

8月28日、子ども達が学校に戻ってきました。やはり、学校は子ども達の元気な声が響いてこそ、らしさを発揮する所です。夏休みも楽しい思い出となったことでしょうか、この学校で更に経験を積んでほしいと思います。

夏休み明け集会では、四つ葉のクローバーを使って話をしました。多くが三つ葉であるクローバーの中で、どうして四つ葉が生まれるか。その理由は、突然変異によるものもあるのですが、人に踏まれるなどして、葉の一部に傷がつき、そこから分化していくためです。人通りの多い公園などで四つ葉のクローバーがよく見つけられるというのも、それが理由です。

昔から「苦勞は買ってでもせよ」「苦しい時が上り坂」などと言われますが、人の成長にはこうした苦勞、困難が必要であることは、今も昔も変わらないでしょう。今活躍しておられる人も、実は自身に苦々しい時代があり、それが糧となったと語られることは多いです。幸せを運ぶと言われる、四つ葉のクローバーの誕生と重なる部分です。

学校は楽しい所でなければなりません、時にはもどかしさも、悔しさも感じる所でなくてはなりません。その経験は決してマイナスではないからです。そのような多様な経験ができるよう、子ども達には新しいことにどんどんチャレンジしてほしいと思います。



自主的に学んでこそ本物の力

夏休み中、学校を開放しておりましたので、学校に来て学習する子ども達をよく見かけました。大まかに3時間に区切り、学校はチャイムを鳴らすだけで、参加した子が自分で計画を立てて、自主的に学習していました。時には、リコーダーや鍵盤ハーモニカを使って、合奏していることもありました。

そもそも学習は、自分でできるようになってこそ、身になります。学習する姿勢を持っていることを嬉しく思い、普通の授業でもこうした姿勢を活かしていきたいと感じました。



バレーボール日本代表チームとの交流

イランにおいて、男子バレーボールのアジア選手権が開催され、見事、優勝という輝かしい成績で幕を閉じました。実に3大会ぶりの優勝で、アジアトップの座を揺るぎないものとなりました。その際、バレーボール協会から、選手のサイン色紙を各家庭にいただきましたので、8月28日の集会後に、手渡しました。

また、試合後に選手と話をしたり、協会の方にインタビューをしたり、特別な配慮もいただいたようで、良い経験になったことでしょう。

日本チームの益々の活躍を期待しております。ガンバレ、ニッポン!



【9月行事予定】

- 9月 4日 朝会 クラブ
- 6日 アルバイーン (休校)
- 7日 委員会
- 14日 預言者命日 (休校)
- 25日 前期期末考査 (~26日)

前期後半は、1ヵ月しかありません。夏休みに充電したエネルギーを使って、さらに成長してほしいと思います。